

枚方市議会議員 改革系無所属

駅前配布版 第91号(通算119号)
平成27年2月発行

かじや知宏 ともひろ 議員報告

〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉46歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈市役所〉〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>



枚方市駅周辺再整備ビジョン 国・府・市有財産の最適利用推進連絡会議を設置 官公庁団地における国・府・市の合同庁舎も検討課題に

枚方市では、中心市街地の魅力あふれる賑わいのあるまちの創出を目的に「枚方市駅周辺再整備ビジョン」の実現に向けて取り組みを進めています。しかし、現時点でビジョンの中で明確に方向性が位置づけられているのは、市民会館大ホールを新町地区（ラポールひらかたの隣地）に移転するという点だけです。また、サンプラザ2号館（旧近鉄百貨店）については、市の動きとは別に株式会社ソウ・ツー（TSUTAYAの関連会社）により、現在、商業施設の整備が進められています。

これから市駅周辺の全体像を描いていくうえで大きなカギを握るのが、市役所本庁舎の今後の方向性です。市が建て替えや移転を含めてまずその方向性を示さなければ、民間の地権者がメインとなるサンプラザ1号館・3号館や旧三越エリア、市駅北口エリアなどの方向性が定まらないからです。市が早期に方向性を示す必要性については、私も含めて多くの議員が、議会質問等で市に提言をしてきたところです。

このような状況の中、昨年末に大きな動きがありました。昨年6月24日付で閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2014」で、社会資本整備において地域における公的施設について国と地方公共団体が連携し、

〈裏面に続きます〉

税金の流れの透明化

ムダの排除

既得権の見直し

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

活動の詳細はホームページをご覧ください

かじや知宏 ともひろ

で 検索



ブログのQRコード



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開いています。

駅前報告を行っています

～540回継続中～

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという想いから、午前6時20分頃～8時30分頃に駅前で「議員報告」の配布を行っています。

国公有財産の最適利用を図ることが明記され、これを受けて昨年12月2日に、枚方市における「国・府・市有財産の最適利用推進連絡会議」が設置されました。市の見解によれば、官公庁団地での国・府・市の合同庁舎も検討課題としているとのこと。現在の市役所や保健所、市民会館、職員会館などがあるエリアの面積が2万2200㎡、官公庁団地エリアが2万5650㎡です。もし仮に官公庁団地エリアでの国・府・市の合同庁舎化の話が進めば、現在の市役所のあるエリアが空白となり、再整備における広大な利用地が確保できることとなります。これにより、他のエリアも大きく動き出す可能性があります。官公庁団地エリアの方向性は、市駅周辺再整備ビジョンの今後の行方を大きく左右することですので、引き続きこの動きを注視しつつ、ビジョンの具体化に向けさらなる提言を重ねていきます。

枚方市駅周辺再整備ビジョンについて(平成26年第1回定例会代表質問)



公有地の有効利用を図り、魅力と賑わいのあるまちに 総合文化施設だけでなく市駅周辺全体の具体的な計画を

【かじや質問】

現在、市庁舎は数か所に分散しており、市民の方の中には、市役所本庁舎に来られて初めて他の建物に目的の窓口があることを知り、引き帰す方もおられるなど、市民サービスが極めて低下している状況です。

また、本市は中核市に移行し、業務も拡大しますが、手狭となった庁舎という器を大きくするにも、現在の老朽化した市役所では、高度化を図って増築する訳にも行かず、建替えるしかありません。さらに、防災拠点という観点からも、老朽化した現在の本庁舎では大きな不安があります。

それに加えて、この市駅周辺地域を魅力と賑わいのあるまちとするためには、積極的な民間活力の導入が欠かせませんが、そのためには市が民間の心を掴むような具体的な計画を示すことが不可欠となります。これらの課題を解決するためには、例えば、分散している庁舎機能をひとつに集約するとともに、官公庁団地において府民センターや国の施設と合築することによって、空いた公有地の土地利用を優れた民間の提案に任せるといったような計画を早期に具体化する必要があります。総合文化施設だけが先行するような案だけでは、ビジョンに示す連鎖型のまちづくりは進まないと考えます。

そこで市長として、この枚方市駅周辺のまちづくりの方向性をどのように考えているのか、見解をお聞きます。

【市長答弁】

枚方市駅周辺のまちづくりについては、ビジョンに示す連鎖型のまちづくりが進むよう、交通環境の改善等の行政主導の取り組みだけでなく、民間活力も視野に入れた様々な検討・取り組みを行い、ビジョンの早期具体化を図ります。

4月26日は枚方市議会議員選挙の投票日です

あなたの一票が枚方の未来を決めます

選挙に行こう！